

令和元年9月吉日

各位

特定非営利活動法人  
長崎県レクリエーション協会  
会長 前原晃昭  
(公印省略)

広報誌「レクながさき56号」の送付について

時節柄、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から長崎県レクリエーション協会の活動につきまして格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。御礼申し上げます。

さて、本協会の広報紙「レクながさき56号」が完成いたしました。

つきましては、職務ご多忙の折、大変恐縮に存じますが、ご高覧いただきますよう宜しくお願いいたします。

記

○送付物

1. 広報紙「レクながさき56号」

1部

スポーツくじ



NPO 法人長崎県レクリエーション協会  
〒852-8104 長崎市茂里町3-24  
県総合福祉センター(社協棟)4階  
電話 095-842-0100 FAX 095-842-0101  
E-mail rec-naga@ngs2.cncm.ne.jp

2019年9月

第56号

長崎県レクリエーション協会情報誌

## レクながさき

Let's  
Enjoy

発行所：NPO法人長崎県レクリエーション協会 事務局：長崎県レクリエーション協会広報部

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター（社協棟）4階

Tel: 095-842-0100 Fax: 095-842-0101 業務時間：月曜日～金曜日 10時～16時

Email: rec-naga@ngs2.cncm.ne.jp

URL: http://www.rec-nagasaki.org/

## 2019年度定期総会終了

6月1日（土）、長崎市民会館大会議室において、2019年度定期総会が開催されました。総会は、長崎県スポーツウエルネス吹矢協会の濱崎泰雄会長を議長に選出し、進められました。議事は、平成30年度の事業報告及び決算・監査報告の承認後、2019年度の事業案・予算案の提案が行われ、それぞれ了承されました。

## ◆ 2019年度の主な事業を簡単に紹介します。

## 【令和元年度ながさき県民総スポーツ祭 長崎県民スポーツ・レクリエーション祭2019inさせば】

予 算／3,691,165円 開催時期／10月～11月佐世保市を中心として開催

内 容／24種目で開催（体験のつどい含む）

## 【長崎県レクリエーション協会広報誌発行】（情報提供事業）

予 算／1,264,120円 発行予定／年4回発行予定 約4500部印刷予定

## 【指導者養成事業】

予 算／220,000円

内 容／レクリエーション・インストラクター養成事業、レクサポ講習等

※スポレク祭については、「スポーツ振興くじ助成」と長崎県より補助金をいただいています。

また、広報誌の発行については、「スポーツ振興くじ助成」をいただいています。

## ◆ 昨年度途中で新たに理事となられた方を紹介いたします。

## ● 総会で紹介された理事さん方

森永 玲理事

高比良 順子理事

小嶺 明博理事

宮嶋 淳一理事

## ● 総会以降新たに理事となった方

富永 孝司理事

森田 俊彦理事

## 元保育者だからこそできる 地域の子育て支援

開催のたびに予約が取れないほどの人気イベントとなっている「かたり音スマイルデー」。元保育者の河浪綾さんと野中祥子さんが中心となり、多彩な遊びや歌を提供しています。平成29年度にレク・インストラクターの資格も取得したおふたりに話を聞くと、保育とレク理論を結びつけることで、活動がより充実したものになっているようです。



パペットで挨拶する河浪さん(右)と野中さん(左)。お揃いのボーダーシャツとベレー帽が印象的。

子どもたちを  
喜ばせるだけでなく  
子育て世代を応援したい

6月9日(土)、長崎市の橘地区ふれあいセンターで、地域子育て支援の一環として行われている「かたり音スマイルデー」が開催されました。顔見知りが多いのか「元気やった?」と声がかかります。受付の制作班メンバーの川崎悦子さんが「長崎市だけではなく、市外や近隣の市の人もいますよ。予約をしておかないとすぐ一杯になりますから」と話してくれました。

オープニングソングの伴奏はピアノの川口香織さん。クラリネットの中村千絵さんとオーボエの山口彩さんが入り、野中祥子さんと河浪綾さんの歌でスタートです。かこさとしさんの「からすのパンやさん」を元にしての読み語り、パネルシアター、自作の曲で盛り上がりります。途中、子どもたちが飽きることがないように、聴衆も巻き込みながらフロアで一緒に楽しんでいきます。夢中になってステージを見ている子どもたちのやり取りや、ママたちのリアクションにスポットライトを当てると、ライブ感いっぱいです。最

後はメンバーからのメッセージ、パパママへの詩の朗読です。

「最後の時」

膝に飛び乗ってきたときも、腕を組んで歩いたことも、

最後の時がある

今を子育てに一生懸命なパパママへの励ましのメッセージです。最前列のママが泣いていました。終わっても、「また来るね」と名残り惜し気に別れが続いていました。

活動が多くの共感を呼び、仲間が増えていった

かたり音をはじめたきっかけを代表の河浪さんにお尋ねしました。元幼稚園教諭の河浪さん、自身のお子さんに読み語りやペープサートを披露した時の反応がよかったことがきっかけでした。その後、参加したパパママ学級でちよつと時間をいただき披露したところ、手ごたえを実感したそうです。「これはいける!」とすぐに幼稚園勤務時代の同僚、野中さんに連絡しました。子どもたちの心により響く教材には、「手作りは外せないよね」「音楽はOKね」と意見交換を行い、今のかたり音のベースができたそうです。ま



「からのパンヤさん」のお話を披露するかたり音のメンバー。現場仕込みの技術で子ども達の興味をぐんぐん惹きつけます。

た、クラリネットの中村さんをはじめは、かたり音を観る側のお客さんでした。「楽器ができる。お手伝いしたい」と申し出て、仲間入りしたそうです。同様に山口さんも参加者からのスタートでした。そのように集まったメンバーは全員が主婦で、現在は10人になりました。

### レク・インストラクター 講座を受けて 経験と理論が結びついた

河浪さんと野中さんは、平成29年度にレクリエーション・インストラクター養成講座を受講しています。

「子育て講座の講師をされている三重式美さん（福祉レク・ワーカー）に勧められたのがきっかけです。彼女とは保育園勤務時代の同僚でもあり仲良くしていました。ずっと『いい講座があるからおいで』と誘われていて、ちようど時間が取れて野中さんと2人で参加しました」。これが大正解！2人とも幼稚園・保育園の勤務経験があったのでゲームや歌も十分に学習していました。ところが、CSSプロセスやハードル設定を学んだ時、保育の展開が頭に入ってきて知識が整理され

たように、頭の中がすっきりしたそうです。その後も講座で学んだ内容を活用しているそうです。

保育者時代に経験則で知って、体得していたことを整理してくれたのがこのレクリエーション・インストラクター養成講座。保育の現場では、毎日が忙しく、なかなか取り組めなかったことでした。

自分たちもパパママ世代でありながら、経験・知識・スキルを活かして仲間の支援に回っているかたり音の皆さん。この活動は自分たちのやりがいにもつながっているそうです。レクリエーションと出会って、子育ての仲間にもメールを送る彼女たちのますますの活躍に目が離せません。



クラリネットの中村さん（左）とオーボエの山口（右）さん。独自の特技を活かしてかたり音を盛り上げてくれています。

# 介護レクリエーション・サポーター養成講習会を開催

7月14日(日)長崎市社会福祉会館にて、本県で初めての「レクリエーション・サポーター養成講習会」を開催しました。

主に、長崎市内の介護予防のためのサロンで活動されている方々が51名集まりました。午前中は、養成講習会とは別のプログラムで、中島り子さん(レクリエーション・コーディネーター)が、楽しくサロンで使える実技を中心として指導されました。

午後からは、日本レクリエーション協会公認レクリエーションサポーター養成講師の平山 仁が、アイスブレーキングとホスピタリティを中心とした内容で、レクリエーション・サポーター講習会を実施しました。理論とともにサロンで使える実技を楽しく体験していただきました。

レクリエーションの重要性は知っているが、なかなか講習会に参加できない方々にレクリエーションのエッセンスを伝えていくこの講習会を今後、県内で開催していく予定です。

最後に、全国でまだ、開催例が少ない中、主管をしていただいた「もってこい長崎レクリエーショングループ お手玉の会」の皆さんには感謝を申し上げます。



## 大村市保育士会レクリエーションを担当

大村市レクリエーション協会 事務局長 峰 ひとみ

令和元年6月15日土曜日、19時から20時30分大村シーハットのメインアリーナでは大きな歓声が響き渡っていました。

この日、大村市保育士会の交流を兼ねたレクリエーションが開催されました。前年に続き大村市レク協会が依頼を受けての開催。

320名の保育士の先生方が集結し、交流ダンスから始まり、グループゲーム、更に集団ゲームでは新聞紙を使った巨大バルーン作成から交流遊びに発展、最後はUSAの曲に乗ってダンス～ストレッチで身体をリフレッシュ!

仕事を終えて少し疲れ気味?での参加～終わりの頃はスッキリ笑顔が溢れていました。巨大新聞バルーン(1カ所新聞紙160枚)では、グワーンと浮き上がる新聞紙に大歓声が沸き、その中を走って移動したりと、童心にかえって楽しんでいただきました。きっと職場で本物の子供たちに活用されると、私達もワクワクでした。

当日のスタッフは8名(浜口・永岡・森・北村・竹田・前川・山川・峰)それぞれがリーダーになり、またサポート役に回り320名の皆さんを見事に支援出来たことに感銘を受けるとともに感謝!お疲れ様でした。



# 学び直しは レク・スクールへどうぞ

レクリエーション・インストラクター養成講座が、新しいカリキュラムとなって3年目の養成に入っています。より実践的な内容をグループワークにより学び合いと実技のもとになる理論を整理して学んでいただいています。



さて、旧カリキュラム下で学ばれた方々へ朗報です。新しい理論や実技を学びたい方へ現在進めているレクリエーション・インストラクター養成講座と一緒に学び直しをしませんか。学び直しの方で有資格者は、今季、受講料は無料です。資料は実費を頂きます。事前にメールなどでレクリエーション協会事務局へ連絡願います。資格をお持ちでない方のスポット受講も有料で可能です。以下、第6回講座からの内容を記載しています。内容の詳細や講師は逐次レクリエーション協会のFacebookにて公開しています。



No	期日	会場	内容
6	9月1日(日)	諫早市小栗ふれあい会館	実技(クラフト、歌を生かした活動、仲間づくりをするゲーム、挑戦していくゲーム)
7	9月22日(日)	諫早市健康福祉センター	プログラム作り(その理論)、プログラムづくり演習 レクリエーション活動の指導体験と評価体験
8	10月13日(日)	諫早市小栗ふれあい会館	安全配慮(理論と実習)、プログラムづくり演習 (ロールプレイングによる学び)
9	10月27日(日)	諫早市小栗ふれあい会館	健康づくりの活動(実技)、活動のアレンジ(理論と実技) 自作プログラム(立案と指導体験)
10	11月17日(日)	諫早市小栗ふれあい会館	プログラム発表、指導体験と講評会 閉講式

## 加盟団体紹介

## 長崎県バウンドテニス協会

「バウンドテニス」は、狭いスペースでできるテニスです。コートが3m×10m、ネットの高さが、50cmと定められ、テニスコートの約6分の1です。

競技は、団体ダブルス戦、BTラリー戦の2種目があります。他のスポーツには見られない「BTラリー戦」という種目は、1チーム6名で編成し、味方同士が1分間のラリーを3回おこない、合計回数で、他のチームと競い合う競技です。

令和元年6月23日(日)長与町町制施行50周年記念事業として、バウンドテニス親睦大会を開催しました。町広報誌に掲載していただき、家族、友人、職場でチームを作り多くの町民の方が気軽に参加していただけるようなルールで募集しました。その結果、7歳から84歳まで、30チーム、180名の参加となりました。協会員は、審判員、スタッフとして45名に協力していただき225名の大きな大会となりました。

現在、長崎県バウンドテニス協会は、バウンドテニス普及活動で、長崎市(長崎県立総合体育館)、大村市(シーハットおおむら)で、2年間に渡り、月に1回講習会を開講しています。8月は対馬で、ジュニアバウンドテニス教室を開催し、来年度4月からは、西海市教育委員会、体育協会の協力により、月1回の講習会が決定しています。県バウンドテニス協会は、長崎県全域に普及出来るように頑張ります。

最後に、バウンドテニスが2023年、佐賀国体から、滋賀県、青森県、宮崎県と国体公開競技として決定しています。



## 2019年度レクリエーション功労者表彰決定

公益財団法人日本レクリエーション協会が、レクリエーション活動の普及に功労があった指導者を表彰する標記の受賞者が決まりました。9月13日(金)に第73回全国レクリエーション大会宮城大会にて、表彰されます。ますますの活躍を祈念いたします。



★ 福田 仁さん

(佐世保市レクリエーション協会)

★ 山下 修さん

(長崎県インディアカ協会)

## レクリエーション講習会 来年2月開催!

毎年、県外講師をお招きして開催してきた「レクリエーション指導者講習会」です。今年度の日程と講師が決定しました。

**日時：**令和2年2月2日(日) 9:30～15:30 (今年は日帰り!)

**会場：**佐世保市内 駅に近い場所で

**参加費：**終日 4000円

午前のみ 2500円

**講師：**上野 祥子氏(熊本県レクリエーション協会)  
レクリエーション・コーディネーター

午後のみ 2500円

上野さんは、UEKレク協会の中心メンバーとして活動していらっしゃいます。そして、熊本地震以降ずっと復興支援で出向き、笑顔と元気を届けています。今回は、その笑顔と元気を届ける実技を中心に講習会を進めます。

## 県レクリエーション協会個人正会員の募集

長崎県レクリエーション協会では、協会を支援していただく正会員の募集をしています。県レク協会は、日本スポーツ振興センターのスポーツくじ助成金や長崎県からの補助金、日本レクリエーション協会からの補助金や事業利益などで運営をしていますが、財政的に苦しい状況です。ご協力をお願いいたします。

個人正会員になっていただくには、協会事務局への連絡と1年間の会費1万円のお支払となります。

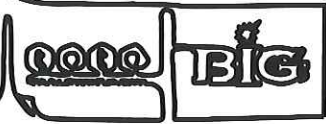
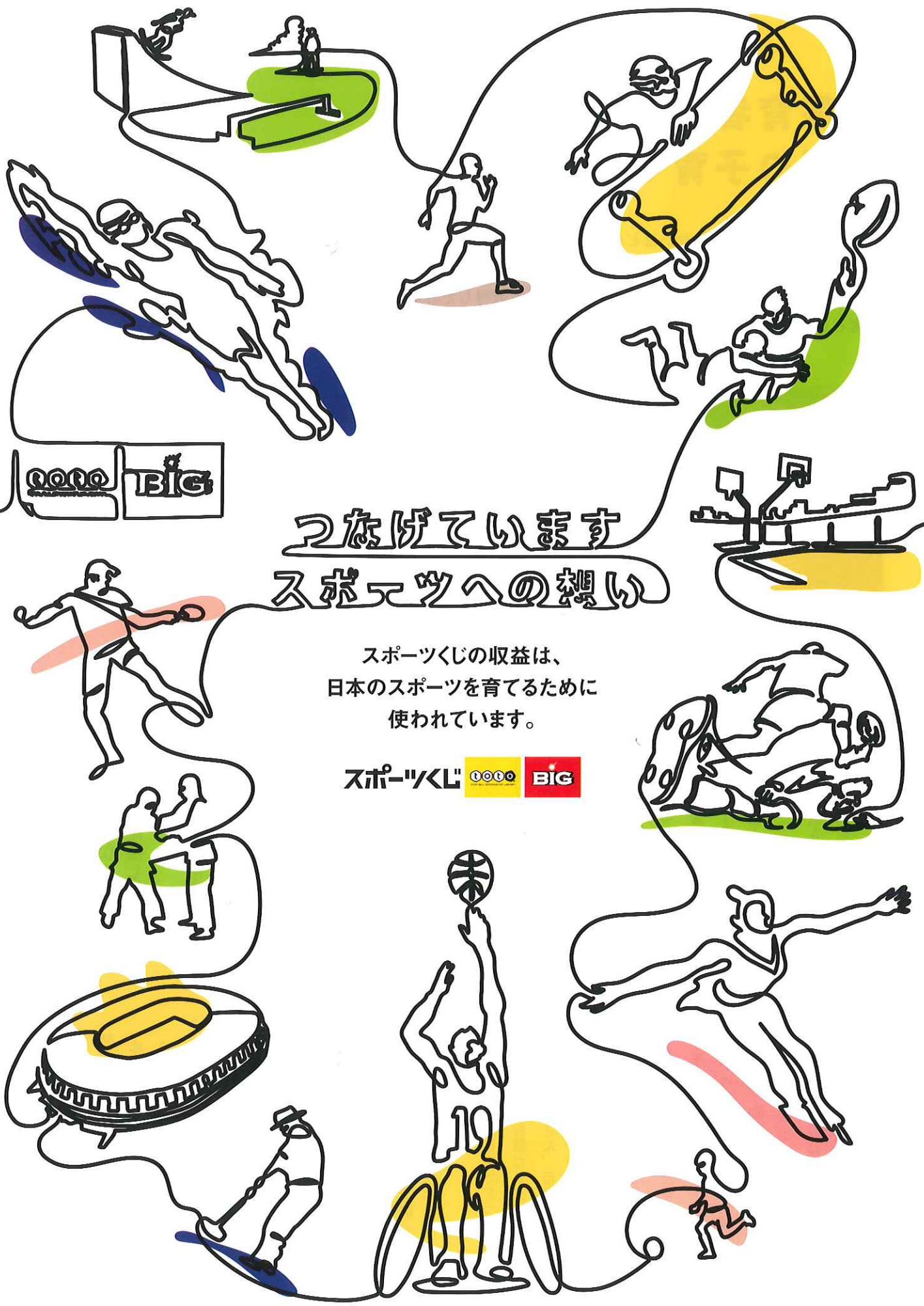
## 個人正会員になると

- ① 総会に出席し、個人会員として意見を述べるができます。
- ② 毎年、年度末に実施している県外講師を招聘している研修会への参加費が無料です。  
上記のこれまでの特典に、今年から下記の点を追加しています。
- ③ 日本レクリエーション協会発行の様々なリーフレットを優先的に無償配布します。
- ④ メールアドレスを連絡いただければ、日本レクリエーション協会が配布した最新の情報を送信します。

これは、協会を支援していただく方にはホットな情報を提供し、もっと全国の動きや詳しく知っていただくというものです。協会の動きを知ることが強い支援につながるという協会の考え方です。

なお、いただいた会費は、使用目的を明示した賛助金ではなく、一般会計に繰り入れております。定款のなかに、目的を明示した賛助金についての掲載がありません。しかしながら、正会員募集の意味合いから、事業経費への使用が主なる目的と考えております。





# つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

